



阿弥陀様は目に見えないけれど、本当にいらっしゃるのかな？  
そう感じたことはありませんか？

私たち人間は、目に見えないものをなかなか信じる事ができません。  
阿弥陀様の木像や絵像、六字名号などのご本尊がつけられたのも、  
人間が目に見えないものに手を合わせる事が難しいからだと言われる程、  
私たちは形のないものを疑って生きています。

阿弥陀様の本願のはたらきは、重力に例えることができます。  
重力は目に見えませんが、どうして存在していることが分かるのでしょうか？  
私たちの足が地に着いていること、物が下に落ちることなどで、重力の  
働きを感じることが出来ます。

重力は、ニュートンに発見されるずっと前から存在していましたが、気付  
かれていなかった様に、阿弥陀様も私たちが気付くずっと前から  
(おまえを救う、我にまかせよ)と原図し続けてくださっていました。

浄土真宗の信心とは、自らの信じる心を表わすのではなく、阿弥陀様の  
本願のはたらきに気付かせていただくことをいいます。

人間は「へすれば信心が得られる」といった様な「へしたら、へすれば」に弱いですが、  
それでは今すぐに救われないことになってしまいます。

お寺に足を運んだり、お聴聞したり、「南無阿弥陀仏」とお念仏が口から出たり。  
私たちが救われる身であることに気付くと、阿弥陀様の存在を感じることが出来ます。  
仏さまのお話を聞かせていただきましょう。

## 6.3 法親寺仏教婦人会



← 住職  
の  
お  
話  
です。

法親寺仏教婦人会が昭和36年に本山の仏婦連盟へ加入して今年で54年目  
になります。市原リコ会長の挨拶、住職の挨拶、平成26年度決算の承認、  
兵庫教区岡山南組仏教婦人会連盟報告を篠原久代さんより頂きました。  
続いて、DVD「親鸞の見た風景」の鑑賞、坊守の講師で「フラワーアレンジメント」を行いました。

## 7.18 お盆法座



参詣者全員で「仏説阿弥陀経」をお勤めし、山口県都濃西組真行寺住職  
1佐々木 大衆師(兵庫県東栗市西願寺住職 佐々木大観師のご子息)のご法話を聴聞  
させていただきました。80名ほどのご門徒の皆様がお参りになりました。

## 6.11 岡山南組仏教婦人会連盟平成27年度総会



組内仏婦結成寺院の皆様が来寺  
され、平成27年度総会が開催されま  
した。今年度より3年任期で法親寺から  
仏婦会員の篠原久代さんが連盟会長に、  
西谷愛子さんが会計に選出されました。



こぶしの里  
恵信尼様会館  
恵信尼様  
七百五十回御  
遠忌御持ち受  
け法要に出勤  
させていただきました。



← 恵信尼様  
の  
廟所(墓所)

住職の法話を『私を支える大地』  
今年もお盆法座で初盆をお迎えになる故人の法名を読み上げ、法要を  
勤めさせていただきました。  
愛する人の別れ(死別)は、そのことによって、相手がどれだけありがた  
い存在であったかを知り感謝することが出来る貴重な時でもあります。  
病気になるということはそのことによって、健康であることがどれだけありが  
たいことであったかを知る貴重な時でもあります。その深い悲しみやがてはやさしい  
思い出に変わるとき必ずやります。人は人生で悲しい出来事に出会います。  
その悲しみを乗り越える手助けをするのが宗教の役目です。  
私たちは仏教の中でも浄土真宗の教えを通して悲しみを優しい思い出に変えることが出来ます。  
『優しい』という字は「人が憂いて優しくなる」との意味もあるし、憂いている人のそばに人が寄り添う」とも解釈できます。  
本当に優しい人とは悲しみや苦しみを経験した人なのかもしれません。

☆深い悲しみ 苦しみを通してのみ 見えてくる世界がある... 平野恵子「子どもたらよ、ありがとう」  
平野恵子さんは山形県高崎にある真宗大谷派のお寺の住持(住職の事)であり、3人の子ともたちの母親でした。  
39歳であまの暮新年を迎える準備をしていた時、下腹部の激痛に襲われ、大量に下血し、肝臓がんであることが  
わかりました。それから、二年間の闘病生活の後、平成元年41歳の若さで亡くなりました。  
子供たちに、恵子さんから贈られた手紙や詩がまとまれ、一冊の本となりました。  
『人生には無駄なこととは何ひとつありません。お母さんの病気で死もあなた達にとって何一つ  
無駄なこと、損なこととはならないです。大きな悲しみ、苦しみの中には、必ずそれと同じ  
くらいのいや、それ以上に大きな喜びと幸福が隠れているものなのです。子どもたらよ、  
どうかそのことを忘れないでください。』

たとえ、その時は、抱えきれないほどの悲しみであっても、いつか、それが人生の喜びに変わる  
時が きっと訪れます。深い悲しみ、苦しみを通してのみ 見えてくる世界があることを  
忘れないでください。そして、悲しむ自分を苦しむ自分を、そっくりそのまま支えてくださる大地  
のあることに気付いて下さい。それがお母さんの心からの願いなのですから。 (『子どもたらよ、ありがとう』より)

その贈り物は、子どもたちに「深い悲しみ、苦しみを通してのみ 見えてくる世界があること」を教えます。  
深い悲しみに出会う時も、私のいのちをそのまま支えてくださる 弥陀の大地があることに感謝し  
お念仏いたしましょう。

## 新潟・長野



親鸞聖人と恵信尼様が暮ら  
しにいた「竹文内草庵」が  
今の国府別院だと言われている。



親鸞聖人が越後から関東  
へ向かう途中に修行をした  
と言われている善光寺。  
親鸞聖人像があります。



国の登録有形文化財に  
認定されている場所もある  
歴史のある旅館です。  
外の湯めぐりも楽しかったです。



Q... 法事は何のために  
するのですか？

A... 故人の命日を機縁  
として、縁につながる者が  
寄り合い、お坊さんと共に  
亡き人の遺徳をしのびつつ、  
お念仏の教えをよるこば  
せていただくのが法事です。  
亡き人を受け止め、残さ  
れた私たちがどのように生  
きていくのかを、考えさせて  
いただく、大切な日です。